



**ROCK PAINT**

水性高光沢の上塗り塗料

# ユニロックハイグロス

つや有合成樹脂エマルジョンペイント

**環境にやさしい  
水性塗料のスタンダード!**

ホルムアルデヒド放散等級

**F☆☆☆☆**

居室内で無制限に使用できます。

非トルエン・キシレン塗料

(一社)日本塗料工業会 室内環境対策のVOC自主表示ガイドライン～「非トルエン・キシレン塗料」～に適合



**ロックペイント 株式会社**

環境にやさしい水性塗料であるユニロックハイグロスが、2液溶剤型塗料並みの高い光沢を実現しました。屋内外コンクリート・木部をはじめ、可とう形改修塗材を下塗りに使用することで、幅広い用途が可能です。

## 特長

### 1. 環境対応

水性塗料のため有機溶剤が少なく、塗装時や直後などに対して周辺地域に配慮した塗料です。

### 2. 速乾性

2時間(23℃)で塗り重ねが可能のため、下塗りとの組み合わせにより、1日仕上げが可能です。

### 3. 高光沢

2液溶剤型ウレタン塗料に匹敵する光沢を発揮します。

### 4. 耐候性

アクリル樹脂エナメル(1液溶剤型)に匹敵する耐候性を発揮します。

### 5. 多用途

可とう形改修塗材を下塗とした微弾性塗材の上塗材用途をはじめ、コンクリート、木部、鉄部など幅広い用途に使用できます。

### 6. 防藻・防カビ性

すぐれた防藻・防カビ剤の配合により、藻やカビの発生を抑制し、清潔な住環境を維持します。

## 各種塗料との性能比較

項目	ユニロックハイグロス	汎用水性ツヤ有り塗料	アクリル樹脂エナメル(1液溶剤型)
安全性(火気)	○	○	×
臭気	○	○	×
耐候性	○	△	○
光沢(60度)*	90	80	85
隠蔽性	○	△	○

\* JIS K 5660 7.10 の測定結果による

## 用途

- 屋内外建築物壁面及び可とう形改修塗材の上塗りとして
- 木部、鉄部(下塗りにサビ止めが必要)の上塗りとして

## 使用上の注意

- ① 塗料はクリアー分が浮いている場合がありますので、缶の底から十分にかき混ぜて、均一にしてください。
- ② ハケ・ローラーなどの塗装用具は水性用を使用し、用具や手についた塗料はできるだけ早く水で洗い落としてください。

## 製品一覧

品名	容量	標準塗布面積 (15kg・1回)
ユニロックハイグロス ホワイト	15kg	115~136㎡
ユニロックハイグロス ホワイトベース* (淡彩色調色用)		
ユニロックハイグロス ウィークホワイト* (中彩色調色用)		
ユニロックハイグロス ニュートラルベース* (濃彩色調色用)		

\*カララントシステム用で店頭調色に使用するホワイトベースです。

調色はロックオンカララント7000(ホワイトベースはベースの7%以内、ウィークホワイトはベースの20%以内、ニュートラルベースはベースの10%以上20%以内)を使用してください。

注)原色は調色用として取り扱っております。

## 性能試験結果

ユニロックハイグロス ホワイト

項目	品質	結果
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になるものとする。	合格
低温安定性(-5℃)	変質しないものとする。	合格
塗装作業性	2回塗りで、はけ塗り塗装作業に支障があってはならない。	合格
乾燥時間	標準状態	2時間以内
	(5℃)	4時間以内
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合格
隠ぺい率%[白及び淡彩]	95以上	98
鏡面光沢度(60度)	70以上	90
耐水性	96時間浸したとき光沢保持率が80%以上で、塗面に異常がないものとする。	合格
耐アルカリ性	7日間浸したとき光沢保持率が65%以上で、塗面に異常がないものとする。	合格
耐洗浄性	1000回の洗浄に耐えるものとする。	合格
耐湿潤冷熱繰返し性	光沢保持率が80%以上で、湿潤冷熱繰返しに耐えるものとする。	合格
促進耐候性	480時間の試験で光沢保持率が60%以上、白亜化の等級は1以下で、色の変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。	合格
屋外暴露耐候性	12ヶ月の試験で、白亜化の等級は2以下で、割れ、はがれ、膨れ及び穴がなく、色とつやの変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。	合格



## 標準塗装仕様

### 塗り替え：外装材の塗り替え(窯業系サイディングボードなどの下地)

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (Kg/m <sup>2</sup> ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
下地調整	旧塗膜のはがれ部分、ふくれ部分などは皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具を用いて完全に除去する。また、エフロッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗り	ロックSBフィラー	水	ハケ : 1~5 ローラー : 1~5	1	0.2~0.4	3時間以上
上塗り	ユニロックハイグロス 指定色	水	ハケ、ローラー : 5~10 エアレス : 20~30	2	0.11~0.13	2時間以上

注) 下塗りには可とう形改修塗材 E のビニロックエラストックフィラーⅢがあります。塗装用具はローラー、エアレス、砂骨ローラー、リシガン、タイルガンが使用できますが、吹き付け塗装する場合は、施工時の温度、希釈率、ガンの口径、塗付量などによって仕上がりが異なりますので、あらかじめ試し塗りを行い、条件を設定してから塗装してください。

### 塗り替え：一般鉄部(平滑仕上げ)

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (Kg/m <sup>2</sup> ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
下地調整	旧塗膜のはがれかかった部分、ふくれ部分はワイヤーブラシ等のケレン具で、浮き塗膜、さびなどは、電動工具、手工具で削りかすとともに完全に除去する。チョーキングした面、汚れ等はサンドペーパー、ウエス等で除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗り	ハイプライマーアクア 各色 配合比(重量) 主剤:硬化剤=2:1	水	ハケ、ローラー : 0~5 エアレス : 5~10	1	0.14~0.16	4時間以上 7日以内
上塗り	ユニロックハイグロス 指定色	水	ハケ、ローラー : 5~10 エアレス : 20~30	2	0.11~0.13	2時間以上

注) ●ハイプライマーアクアには、グレーとホワイトがあります。

●内部、準外部の鉄部における下塗りには、低 VOC タイプの水性サビ止メペイントV.O 赤錆色、同グレーがあります。

### 新設：コンクリート、モルタルなど(平滑仕上げ)

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (Kg/m <sup>2</sup> ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
素地調整	エフロッセンス、レイタンス、ゴミ、汚れなど付着物を完全に除去し、乾いた清浄な面とする。 (含水率10%以下、pH9.5以下)					
下塗り	ロックカチオンシーラーマルチⅢ	(水)	ハケ、ローラー : 0 エアレス : 0 (通常不要)	1	0.07~0.13	3時間以上
上塗り	ユニロックハイグロス 指定色	水	ハケ、ローラー : 5~10 エアレス : 20~30	2	0.11~0.13	2時間以上

注) ●ロックカチオンシーラーマルチⅢ(透明)はカチオン型であり、他の水性塗料と混合するとゲル化しますので、絶対に避けてください。

またハケ、ローラーなどの塗装用具の共用も避けてください。その他ロックカチオンシーラーマルチ ホワイトもあります。

●吸い込みの著しい部材については、標準塗付量より多くなる場合があります。シーラー塗装は「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装してください。

※仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などにより、多少異なる場合があります。

## 関連下塗・中塗

品名	容量	品名	容量
ロックカチオンシーラーマルチⅢ	15kg	ハイパーシーラーアクア 主剤(透明)	14kg
ロックカチオンシーラーマルチ ホワイト	15kg	ハイパーシーラーアクア 硬化剤	1kg
ユメロックシーラー 主剤(透明)	12.5kg	ロックSBフィラー	15kg
ユメロックシーラー ホワイト 主剤	12.5kg	ビニロックエラストックフィラーⅢ	16kg
ユメロックシーラー 硬化剤	2.5kg	ハイプライマーアクア グレー	10kg
ハイパーシーラーエポ 主剤(透明)	12.5kg	ハイプライマーアクア ホワイト	10kg
ハイパーシーラーエポ ホワイト 主剤	12.5kg	ハイプライマーアクア 硬化剤	5kg
ハイパーシーラーエポ 硬化剤	2.5kg	水性サビ止メペイントV.O 赤錆色	16kg
		水性サビ止メペイントV.O グレー	16kg

全てF☆☆☆☆です。

## ◆施工上の要点・注意事項

- 塗る面のゴミ、カビ、こけ、油分、枯れ葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分に乾燥させてください。
- 気温が低いときや、湿度が高い場合には、完全な塗膜ができにくく十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上での塗装は避けてください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、また天候不良が予測されるときは外部の塗装は避けてください。
- 改修塗装の場合、脆弱な旧塗膜、汚れ、チョーキングなどはディスクサンダー、皮スキ、ワイヤーブラシなどで除去し、高圧洗浄を行った後、24時間以上乾燥させてください。(気温23℃、湿度65%の場合)
- エマルジョンパテの外部での使用は避けてください。
- 旧塗膜が活膜の場合、表面荒らしが必要な場合があります。またフッ素樹脂塗料への塗り替えには使用できません。
- たえず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- 屋外セメント系素地に段差や素穴などがある場合は、セメントフィラーを用いて不陸調整を行ってください。また吸い込みの多い面などを塗る場合は、各種ロック建築シーラーで適切なものを使用しあらかじめ下塗りをしてください。
- 改修塗装の場合、素地の種類によって塗膜不良となることがあります。あらかじめ適切な処理を行い、試し塗りをすることをすすめます。
- 旧塗膜が弾性系の塗膜(弾性リシン、弾性スタック)やアクリル樹脂エナメルなどの場合、すでにふくれが発生していることがあります。そのまま塗装するとふくれが拡大することがありますので、ふくれ箇所は完全に除去してください。
- 蓄熱しやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、その他断熱性が付与された建材など)を使用した高断熱型住居の外装を塗装する場合、状況により蓄熱、水分、素地、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、素地の変形、塗膜のふくれ、はがれなどが発生する場合があります。詳しくは最寄りの営業所にお問い合わせください。
- シーリング材への塗装は、シーリング材の種類、劣化度により付着不良、収縮割れなどを起こしたり、表面が汚れたりすることがありますので塗装は避けてください。やむを得ず塗装する場合は、シーリング材が完全に硬化後、シーリング材用プライマー「ロックノンタックプライマーS」を塗装してください。またプライマーで処理しても、シーリング材の種類によっては汚れ、付着不良、剥離、収縮割れが発生する場合があります。
- サイディングボード表面に反り、うねりが発生している場合は、ビスの増し打ちなど状況に応じた補修を行ってください。また補修が困難な場合はボードの張り替えをご検討ください。
- 比較的緻密な素材である押出成形板やGRC板へ塗装する場合は、ユネロックシーラー、ハイパーシーラーエポ、ハイパーシーラーアクアを下塗りとして使用してください。フッ素コート処理をはじめ無機系や光触媒処理のサイディングボードには、ハイパーシーラーエポ、ハイパーシーラーアクアを下塗りに使用してください。
- 下地、旧塗膜が脆弱な場合、また素材が強アルカリ性であることが予想される場合は弱溶剤型シーラーを使用してください。また改修塗装で弱溶剤型のシーラーを使用した場合、旧塗膜の種類によっては溶剤の影響により、ふくれ、ちぢみなどが発生することがありますので、試し塗りをした上で本塗装を行ってください。
- ビニルエラストックフィラーⅢを砂骨ローラーで塗装する場合には、最初に配り塗りを行い、その後ならし塗りし、塗り継ぎにムラが生じないように行ってください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。特に吹付け塗装の場合は注意してください。
- 塗装作業中および塗膜を乾燥させる際には、十分に換気を行ってください。溶剤型塗料を使用するときは火気厳禁にしてください。
- 塗装方法により多少色相が異なることがありますので、入り隅のハケ、ローラー境目はできるだけ奥までローラー塗装してください。
- ハケ塗りとローラー塗りで仕上げが混在する場合、塗り肌が異なり、色相に差が出やすいので、ハケ塗り部分は希釈をやや少なめに塗装してください。
- 作業効率の低下及び塗りむらの原因になるため、スプレーノズルの先端は時々水洗いをしてください。
- ハケ、ローラーなどの塗装器具は水性用を使用してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相が異なって見えることがあります。
- 使用後のハケなどの用具や、手に付いた塗料はできるだけ早く水で洗い落としてください。乾くとおちにくくなります。
- 補修部分が目立つことがありますので、補修塗りの場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
- 各工程の塗装間隔や塗装回数、塗付量、希釈量を守らなかった場合、塗膜不良となることがあります。また各工程において、当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。
- 標準塗装仕様中の標準塗付量については、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。吸い込みの著しい部材については、標準塗付量より多くなる場合があります。
- シーラーを吸い込みの著しい部材に塗装する場合、「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装を行ってください。
- シーラー塗装後、標準塗装仕様の塗り重ね可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こすおそれがありますので、塗り重ね可能時間を守ってください。
- 下塗り乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- シーラー類や各種上塗り塗料には防錆性がありませんので、金属製でできている部分が錆びている場合、錆などを除去、ケレンし、適性のあるサビ止め塗料を下塗り後、上塗り塗装を実施してください。
- 仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。
- 塗装後24時間以内に降雨、結露があった場合、白化やシミは残る場合があります。また、低温時や高湿度、通風が悪い場合も白化やシミになる場合があります。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、ふくれが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 色相が濃彩色の場合、塗膜を強くすると色落ちしたり、さざ波模様など凹凸のある下地の場合、上塗りの隠ぺい性が十分発揮できず色むらが出たり、塗装回数が増えたりする場合がありますので注意してください。
- サビについては完全に除去後、削りカス(サビ、鉄くず)を完全に除去してください。錆の発生原因となります。
- 2液型塗料は、主剤と硬化剤を所定の配合比で混合し可塑時間内に使用してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相が異なって見えることがあります。
- 溶接接合部や下塗りにキズがある場合は、その部分が塗膜不良となりやすいので素地調整後、補修塗装を行ってから塗装してください。
- ドアパッキンや緩衝材など可塑剤を含むプラスチック製品に乾燥した塗膜が接触したり、直接塗装を行ったりすると塗膜が軟化することがあります。そのような箇所への塗装は避けてください。
- カウンターやテーブル、いす、棚、床等への塗装は避けてください。
- 上塗りに鮮やかなエロー系、レッド系、ブルー系、グリーン系の塗色で仕上げる場合、塗膜の隠蔽性が弱い傾向にあるため、先に隠蔽性のよい共色(近似色)で下塗り塗装した後、上塗り塗装してください。
- 標準塗装仕様はすべての工程においてホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆を使用したり、各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合、F☆☆☆☆仕様でなくなる場合がありますので注意してください。
- このカタログに記載されている下塗り塗料などの詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。

## ◆安全衛生上及び取扱上の注意

### 【製品の危険・有害性】

危険性のほとんどない製品ですが、目や呼吸器に入らないようにしてください。

### 【救急処置】

- 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。

### 【取扱注意事項】

- 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- 取扱中は、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じて保護手袋、保護メガネ、保護マスクを着用してください。

- 取扱後は、手洗い及びうがいを行って、作業衣等に付着した汚れをよく落としてください。
- よくふたをして直射日光を避け、5℃以上40℃以下の子どもの手の届かない場所に保管してください。
- 容器は中身を使い切ってから破棄してください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。

### 【施工上の安全性について】

- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの際は、施主に対して安全性に十分に注意を払うようご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗りたてであるなどの立看板等を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようご配慮願います。

安全データシート(SDS)をよく読んでから取り扱ってください。

# ロックペイント 株式会社

東京営業部 〒136-0076 東京都江東区南砂2-37-2  
TEL(03)3640-6000 FAX(03)3640-9000

札幌営業部 〒003-0011 札幌市白石区中央一条4-3-48  
TEL(011)812-2761 FAX(011)812-9304

仙台営業部 〒983-0044 仙台市宮城野区宮2-3-11 渡正ビル201  
TEL(022)349-8677 FAX(022)283-3255

西関東営業部 〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本1-15-16  
TEL(042)700-3111 FAX(042)700-3112

大阪営業部 〒555-0033 大阪市西淀川区姫島3-1-47  
TEL(06)6473-1650 FAX(06)6473-1000

名古屋営業部 〒454-0059 名古屋市中区川福川町1-1  
TEL(052)351-6500 FAX(052)361-7433

岡山営業部 〒701-1134 岡山市北区三和1000番34  
TEL(086)294-1201 FAX(086)294-6966

福岡営業部 〒811-0119 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3-2-1  
TEL(092)962-0661 FAX(092)963-1241

URL <https://www.rockpaint.co.jp>

●本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。